



暖かい日はまだ遠くに感じますが、暦の上ではもうすっかり春なのです。

鬼は外へ、福は内に。春よ、こいこい！

◆毘沙門堂の裸押合が近づいて

1月の大雪には苦労しましたが、ちよつと気がかりなのは、家の裏山や畑で大暴れしていた猿軍団のことです。どこでどうやって厳しい冬を迎えているのでしょうか。猿の生態に詳しい方、冬山に生きる猿の写真をお待ちの方は、ぜひ教えてください。

2月の声を聞くと、浦佐毘沙門堂の裸押合が待ち遠しくなります。以前、普光寺の近所に住んでいたので、大蠟燭を担ぐ多聞青年団の勇姿に惚れ惚れしたり、水行を見て身震いしたり、深夜の堂内で押合の熱気に圧倒されたことを思い出しているところです。

3月3日が楽しみです。(館長 高橋良一)

◆美の先覚者たち

2月10日から始まる展覧会「『魚沼発』22世紀への伝言板—美の先覚者たち」では、美



術界において戦後の日本を支えてきた長老たちを「美の先覚者」として、その美への探求心を掘り下げ、その努力と功績を後世に伝えていきたいと考えています。作品を展示すると同時に、次世代へのメッセージを書いた「伝言板」も展示いたします。

◆今年もご愛読ください

今回は魚沼地方の作家を中心に、日本画・洋画・彫刻・書道の11名の作家から出展していただきます。詳しい出展者については裏面のほうに記事が載っていますので、そちらをご覧ください。いずれも地元美術界に功績のあつた方々で、皆さんの作品を一堂に見られるのを私も楽しみにしています。

目新しい作品に注目が行きがちですが、ベテラン作家の技や心を感じていただきたいと思えます。寒い季節ですが、ぜひご覧ください。(広田かおり)

◆イチゴ記念日

朝、車のエンジンをかけるとカーナビが「今日は○○の日です」と教えてくれます。国民の祝日はわかりませんが、知らなかった語呂合わせの記念日などが非常に多いことを知りました。1月15日は全国いちご消費拡大協議会が定めた「いいイチゴの日」でした。特に今年には百年に一度のイチゴイヤーで、スーパーでもコーナーを設けて色々な種類が並んでいました。

新月の日にイチゴを食べると願い事が叶うといわれています。以前、新月の日に一緒に出かけた知り合いがイチゴを用意してくれ、皆で月を見ながら食べました。10年以上も前



美味しいだけでなく、豊富なビタミンCには肌の老化を防ぐ作用があり、風邪の予防や眼精疲労、そしてストレスも軽減されるそうです。疲れの溜まっている受験生にもお勧めです。毎年この時期にイチゴを食べると、春がちよっぴり近づいたように感じます。(佐藤良子)

◆冬眠ゴルフの楽しみ

池田記念美術館ゴルフ倶楽部があるのは前に紹介しました。年2回コンペを行い、親睦の輪を広げています。冬は雪に閉ざされ、地元ではゴルフの練習場にも行けません。なかなか県外への遠征もままならず、雪かきに追われています。そんな中、ゴルフショップを冷やかしに行ってみました。

熱心な店員さんが対応してくれ、説明を聞きました。彼によると、現在の最新のクラブは30グラム前後の軽量化でラウンド後の疲れ方が違って来る。低重心化とロフトの角度でより遠くへ飛ばせる……等々。シニア向けのクラブを勧められ、最後に、今使っているクラブを持参しての比較試打を促されました。帰宅後、10年以上も前のクラブを使っているし、アイアンなどは同じ番手でも他の人より飛ばないし、これはクラブの替え時かもしれないなどと考え始めていました。どうやら術中にはまってしまったようです。(岡西英孝)

◆今年もご愛読ください

イケビふれあい通信の仲間入りをさせていただいてから、どのくらい経つでしょうか。

魚沼の春夏秋冬を一通り体験し、美術館の内や近況報告、はたまた日常のちよつとしたことまで、今までいろんなことを書いてきました。ですが、未だに原稿書きは難しく、なかなか文章力が身につけません。はて今月は何にしよかなと考えていると、あつという間に締切が来てしまい、毎月慌てて書き起きます。

受付カウンターに毎号置いてあるので「通信読ませてもらっています」とお声をかけていただくことも増えました。嬉しいような恥ずかしいような気持ちになります。けれど、ぜひ各地に広まってきているのだなと感慨深く思います。皆さんのお手元にはどういった経緯でこの通信が届いているのでしょうか。ふむふむと頷いたり、時にはクスッと笑っていただければ幸いです。(櫻井多美子)

◆ミスターのオーラ消えず

正月を迎えて、「一日5回笑って5回感動しよう」というコラムに出会いました。医学博士で笑医塾の塾長・高柳和江氏の提案です。幸福感は免疫力を高めるそうです。

3日のTBSテレビ「独占! 長嶋茂雄の真実 父と娘の40年物語」には1月分の感動をいただきました。特に、2004年3月4日、脳梗塞に倒れてからのミスターの戦いぶり、すさまじいものがありました。気がついたとき、「難しい病気のようだが、勝負してやろう。いまはこういう状態だけど、最後にはきつと勝って、もう一度走ってみせる」——凡人にはできない決意です。それから10年に及ぶリハビリ、一日1・3キロの歩くトレーニング、また不自由な右手の腕立て伏せ、その努力の姿には、まさしくオーラが漂っていました。

「現役時代は遠い存在」だったという娘・三奈さんとの会話もなごやかでした。奇跡を起こす男は依然健在でした。(顧問 佐藤吉昭)

「美の先覚者たち」展に寄せて

山本 安雄

「ヴェテランの味」という表現がある。言ってみれば、熟練者の持つ独特な表現ということだろう。

高2のとき、はじめて油絵具を使って描いたときから、すでに60年余。絵を描く楽しさと苦しみを味わってきた。大学の絵画科に進み、立派な教授陣（栗原、宮本、鳥取、宮永）、力のある同期生、団体展の諸兄等に支えられ、ここまでこれた。普通の体力と気力（これが最も大事）さえあれば、この年（80歳代）でもやれる。

自分なりの技法、テーマなど、独特な表現を追求して、それぞれの道を歩いてきた作家たち。そこに、その人の「結晶」がある。

若い人とは違う「表現」が頑としてあるはず。物の見方、解釈の仕方など、熟練の味を観て、受けとめて頂ければ——と思う。



作品の前で自作を語る山本安雄氏

池田記念美術館 展覧会&イベント情報

メッセージ 〈魚沼発〉22世紀への伝言板 美の先覚者たち

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：2月10日（火）～3月3日（火）
※2月11日（水・祝）は開館、12日（木）は振替休館となります。

戦後の魚沼美術界を先導した画家・彫刻家・書家11人による熱いメッセージ！

■出展者

【湯沢町】高橋貞良（洋画）
【南魚沼市】山本安雄（洋画）、野上公平（彫刻）、田村岳川（書道）
永井昭司（洋画）、桑原 収（洋画）、原澤無啼（書道）
【魚沼市】関登美恵（日本画）【十日町市】藤巻秀正（彫刻）
【小千谷市】菊地美秋（日本画）、新保幸雄（洋画）

■出展者による作品解説会 2月14日（土）、2月21日（土） 各14：00～



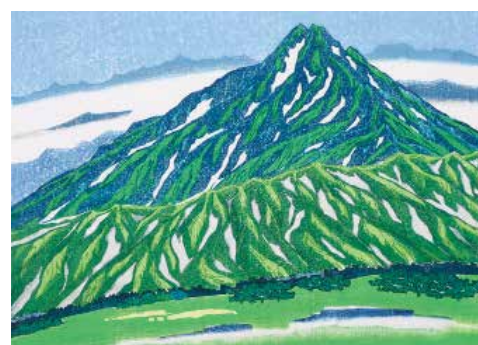
貝瀬利一「モンサン・ミエツシエル屋下がり」

■現代版画フォーラム in 魚沼展

◎1階企画展示室・多目的ホール ◎期間：3月6日（金）～3月30日（月）

昨年の日本版画会展出品作品から選抜された41点と新潟支部の作品25点を展示。

■会員によるトークショー・木版刷りの実演（3月8日、3月21日）
■小中学生向けの版画教室（3月15日）も開催します。



坂西徹朗「燧ヶ岳（平ヶ岳山頂から）」

■常設展（日本美術展示室を展示替えしました）

「日本美術展示室」日本最初の女性洋画家であるラゲーズ・玉の油彩画と少女時代の習作、會津八一の書、星襄一の版画、良寛の書、芹沢銈介の型染めなどを展示しています。「小泉八雲展示室」日本文化を深く愛した小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）。小泉家秘蔵の資料約1500点の中から、直筆原稿や公文書、家族との書簡などを展示しています。「スポーツ文化展示室」野球、相撲、オリンピックを中心としたスポーツコレクション。草創期の野球文化を知るユニフォームなど歴史的な展示品を見ることができます。

◎他の展示・イベント

■スポーツカード展示室・大相撲カード特集 3月下旬まで展示中！

「2015大相撲カード」と「相撲錦絵カード」を展示します。同時に戦前の大相撲力士の写真カードやメンコ、大鵬の手形など、相撲関連の珍しい資料やパネルなども展示中です。池田記念美術館は日本の伝統文化・相撲の世界を応援します。

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」2月15日（日）

①11：30～フルートとピアノの演奏 ②14：00～フォークソング

耳寄り情報

「池田音楽クラブ会員募集」

演奏する楽しみ、聴く楽しみ、サポートする楽しみ……池田記念美術館は音もアートの重要な柱ととらえています。音の大好きな方ならどなたでも大歓迎です。詳しくは美術館までご連絡ください。なお、2月の音を楽しむ集いは15日に開催いたします。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9：00～17：00（入館受付は16：30まで）
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【2月の休館日】

※水曜日（4日、18日、25日）
※11日（水・祝）は開館します。
※12日（木）は振替休館となります。